

青山小学校区
コミュニティ
協議会

新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

〈広報〉
第39号
令和5年
6月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

令和五年度

青山小学校区 コミ協総会・区政懇談会

地区イベント復活開催へ

花文字植栽・コミハウス文化祭・ふれあいの集い

令和五年度の青山小学校区コミュニティ協議会総会が水野利数西区区長を始め担当課長幹部と地域の来賓を迎え、総勢四十六名で盛大に実施されました。

コロナ禍で令和四年度は中止や計画変更もあった事業や決算が承認され、令和五年度の事業計画では、五月に実施された「花文字植栽」事業や「ふれあいの集い」が両地区で予



定のこと、「有明ふれあいまつり」の復活開催、「青山コミュニティハウスの文化祭」や「おしゃべりカフェ」の再開検討を含む事業計画や予算案が承認されました。昨年に続き、感染症は五類感染症になったものの、飲食面の三密対策上やインフルエンザの流行含め懇親会は見送りの案内であり、関連団体の総会終了後は役員による会場の後片付けでの作業で終了しました。

青山循環線のダイヤ改正で利用者困惑

区政懇談会のテーマは多岐にわたりました。津波・地震災害時の安全確保、地域社会のリーダー育成、通学路問題とサービスの活用、空き家対策、青山循環線のバスダイヤ改正など、西区役所からは水野利数区長ほか、部署担当者から現状と今後の方向についての説明がありました。津波・地震などについては避難所ではなく、西大通りの高所へのぼるのが一番安全との説明があり、併せて出席者からはハザードマップとの関連についての発言もありました。

四月のバスダイヤ改正で青山循環線の平日大幅減便について水野区長は収支バランスをあげ、コロナ禍による運転手確保などにもふれ「行政の範疇からは少々」との発言でした。

同循環線は、信濃町から有明バス路線を通り上山経由で西大通りを跨ぐルートで、青山ショッピングセンター（清水フード）や、イオン新潟青山などへの買い物には重宝なバス路線になっています。同路線の浦山、有明地区商店街はここ数年店じまいが相次ぎ、買い物難民化も加速、同地区住民の間には悲鳴があがっています。同循環線の運転手さんの中には「補助金からみ、BRT運行のしわ寄せとかの話は社内ですべて聞いていました」などと話してくれた人もいました。



冒頭「西区ビジョンまちづくり計画」概要版について水野区長から説明があり、引き続き高山地域課長から令和五年度の「西区の主な取り組み」の事業や予算の説明がありました。

浦山地区
URAYAMA

令和5年度 自治協議会総会

有明地区
ARIAKE



●浦山地区自治協議会 新役員

所 属	氏 名
浦山6区	五十嵐 修
青山寮	大丸 諒士郎

浦山地区自治協議会は四月二十三日青山コミュニティハウスに於いて青山小学校区コミュニティ協議会会長中藤氏、青山児童・民生

ふれあいと連帯の町づくり



●有明地区自治協議会 新役員

所 属	氏 名
西有明町第1	島崎 浩一
ネオハイツ有明	布施 孝雄

今年是有明福祉会館から青山コミュニティハウスに会場を移し、五月十三日(土)有明

防災訓練をめぐって意見交換

地区自治協議会の令和五年度の総会を開催しました。新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ第5類へ移行、会長及び副会長ら役員十七名、来賓の矢口青山民児協会長を招待しての総会となりました。

新会長や普段顔を合わせることが少ないこともあり、全員自己紹介からの進行でした。例年の通り、打越自治協会長が議長となり、四年ぶりの有明ふれあい祭り、有明ふれあいの集いの事業や予算を採択しました。

防災訓練についての提案や活発な意見が出され、これから予定される自主防災会実行委員会にとって重要な話し合いの場にもなりました。

委員協議会会長矢口氏、浦山郵便局長恩田氏、新潟天竺園前施設長高野氏・現施設長尾口氏、浦山交番所長中野氏を招き定期総会を開催しました。

浦山十区自治会長榎木氏を議長に選任し、コロナ禍感染防止対策を講じ、令和四年度業務報告及び会計決算・監査報告を承認、会長、副会長、会計の三役再任と退任理事、新任理事の令和五年度人事、及び事業計画・会計予算を議決しました。

今年度も昨年度同様コロナウイルス感染防止対策を考慮し、安全・衛生・防火・福祉活動を推進し、ふれあいと連帯のある町づくりに務めることを確認して新年度をスタートしました。

うちの自治会 シリーズ 11

浦山六区

支え合う地域づくり

会長 五十嵐 修

私たちの自治会は西大通りから海の方に下り海岸保安林まで、両側は海岸道路につながる市道などに囲まれた区域です。関屋分水完成前と完成後に建設された住宅が混在し、各種アパートもあり多世代の市民が住む住宅地域です。

コロナ禍以前は、高齢世帯の方や一人世帯の方を対象に「もしも」に備えてつながる集いや「日帰り温泉旅行」、「ふれあい新春懇親会」を開催し親睦を深めてきました。

育成部の子供さんの行事も賑やかに思い出を作ってきましたが、コロナ禍のためストップ、今年度からは徐々に以前の行事を復活させ、支え合い励まし合う地域を、みんなが楽しく作っていききたい。



日帰り温泉のひとコマ(コロナ禍前に実施)

西区八景を形成する関屋分水の花文字づくり



「西」「区」の二文字を植えました。児童は今までは見るだけだったけれど、実際に花文字づくりに参加して見方が変わったという感想でした。本番のシンボルマークと「セキヤ分水」の植栽活動には地域住民を中心に、信濃川下流河川事務所、関屋もり上げ隊、民生、児童委員、青山コミハウス事務局など百三十四人の顔ぶれが参加して盛り上げました。植栽した花文字の苗はベゴニア、サルビア、ポーチュラカ、青山小の西区分も含め色とりどりの合計二千八百本、一時間足らずの作業で華やかな「西区八景」の花壇が完成しました。ぜひ、お立ち寄りください。

関屋分水
花文字植栽花壇づくり

「西区八景」、令和四年度 西区自治協議会が西区の魅力的な風景八つを選定、その一つが「関屋分水」です。令和四年度、通水五十周年を迎え、恒例になっている花文字緑化運動は地域にしっかりと根付き、親しまれています。

恒例の「花文字植栽花壇づくり」（青山小学校校区コミュニティ協議会主催）は今年、青山小児童六年生と地域住民中心の二本立て、五月二十四日、同二十七日に実施しました。青山小は地域代表からの呼びかけに「総合的な学習の時間」の授業

に組み込んで参加、



「西区」の花文字を植えた青山小児童たち

心うるおう堀割橋ギャラリー

新潟市中央区と西区をつなぐ関屋分水にかかる堀割橋にギャラリーが出現。「おやっこれッ」と通行人が振り向いて通りすぎて行く。



「信濃川」「ときはーとお花畑」などの題材のほか、浮世絵（歌麿）も。

心がうるおう文字通りのブリッジギャラリーである。障害のある方と社会をつなぐ事業を展開している「トーホー」KK企画のまちごと美術館。

傷んだ橋をなおしています——の看板が立つ堀割橋の工事現場に3月から5月30日までお目見えしました。



利用者代表懇談会 4年ぶり対面開催!

コロナ3密防止のため中止していたサークルの代表懇談会が5月14日に開かれました。コロナ感染症がインフルエンザ並みの5類移行になったものの、少し気になる中、参加者は管理人を含め18名でした。

コロナの影響は大きく、声を出すサークルは自粛せざるを得ない状況の話があり、反面、静かに体を動かすサークルは過去最高の会員数になって盛り上がった、と様々な報告があり和やかな懇談会でした。終了時には火災報知器や消火器の使い方を確認し、避難訓練で閉会となりました。



青山コミュニティハウス管理運営委員会総会が四年ぶりに四月二十八日に開かれ、昨年度の事業・決算と新年度の事業計画と予算を承認しました。役員体制としては、利用者会からの藤井秀子副会長が退任、後任に米山はるみ氏が就任しました。

コロナ禍から文化祭は三年連続で中止や利用率の低下傾向がありました。利用者からの協力と理解もあり、コロナによる利用制限も無く利用者総数は前年度より若干の増加となりました。設備面では、冬期間の融雪、消雪パイプ設備の拡大工事の報告ほか、講座室の床面についての改修提案の意見もありました。

令和五年度 青山コミュニティハウス管理運営委員会総会 四年ぶり開催、新しい副会長に米山はるみ氏

新型コロナウイルス 感染症の5類移行後の 対応について

施設側としても、感染症法上の分類が5類移行の認識で、引き続き厚生労働省や新潟市の対応について周知し、下記の点の徹底をお願いいたします。

基本的感染対策の考え方

- ☆マスクの着用を推奨
- ☆手洗い等の手指衛生
(入口にはアルコール消毒と自動検温器)
- ☆「三つの密」の回避、
「人と人との距離確保」

基本的な感染対策を継続しよう



手洗いなどの手指消毒



小まめな換気



3密の回避

マスクの着用は個人で判断しよう

以下のような場面では、マスクの着用が効果的です。



受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問するとき



通勤ラッシュ時など、混雑した電車・バスなどに乗車するとき



高齢者や基礎疾患がある人、妊婦など、重症化リスクの高い人が感染拡大時に混雑した場所に行くとき

※この広報誌は新潟市の助成金を受けて発行しています。